

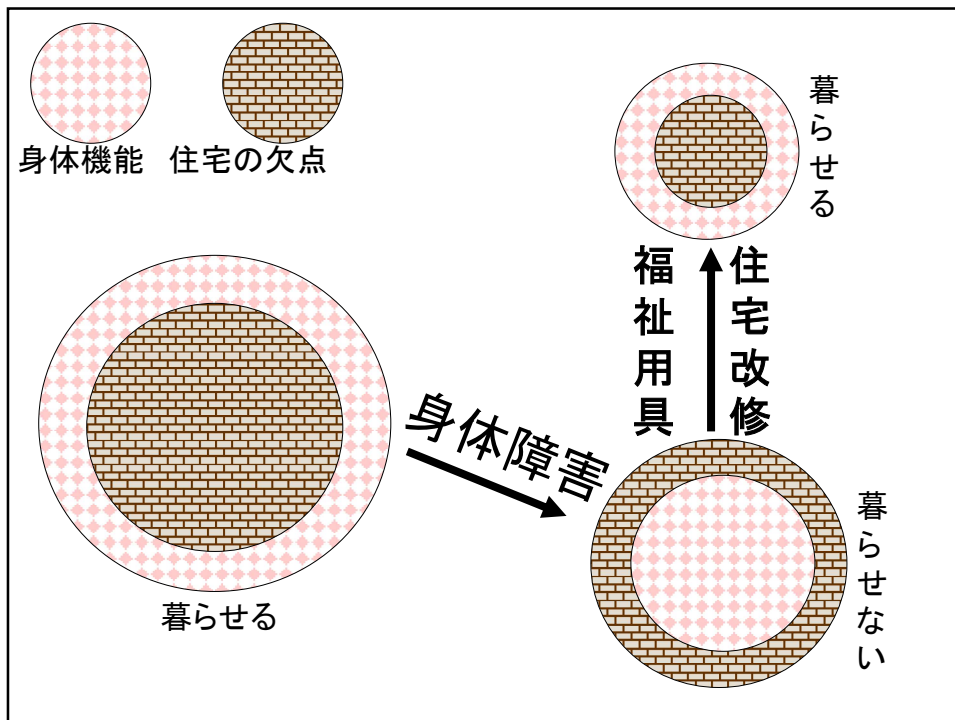
患者・利用者の在宅生活の基礎を支援する
「住宅改修の重要性」

(株)バリオン 代表取締役 金沢善智

自己紹介

氏名: 金沢 善智 (かなざわ よしのり)
出身: 東京理科大学大学院工学研究科
建築学専攻 (建築人間工学)
元職: 弘前大学医学部保健学科助教授
目白大学保健医療学部教授
経歴: 1万件以上の住宅改修に関わる。
パラマウントベッド、アロン化成、
ダスキン、ウッドワン、三桜工業など
の製品開発・流通に関わる顧問
全国福祉用具専門相談員協会 理事など
医学博士、工学修士、理学療法士

人はなぜ
体に障害が残ると
昨日まで暮らしていた
家で暮らせなくな
るのでしょうか？



最重要キーワード
餅は餅屋に任せる

専門分野以外で
知らないと言うことは
恥ではない！

臨床2年目の春
脳出血 右片麻痺
30代女性
との出会い

半年間におよぶ
リハビリテーション

右上肢：廃用手

右下肢：Brs III

歩行：短下肢装

4脚杖or手すり

院内ADL状況（退院時）

排泄：洋式＋手すりにて自立

入浴：一人用浴槽・見守り

食事：スプーンにて可

更衣：ベッド、車いすにて自立

整容：車いすで自立

移乗：自立

移動：10m歩行可、車いす主力

笑顔の退院から3ヶ月 彼女は寝たきりとなっていた

理由1

病院との
建築的
ギャップ



理由2

セラピスト側の思い込み！
「病院でできたことは、
家でもできている！」

病院と自宅との 建築的ギャップを埋める 住宅改修の必要性を痛感

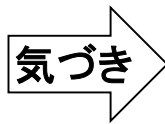
1985年当時

制度：老人福祉法、身体障害
者福祉法による「日常
生活用具給付」←形骸
施工者見つからず

上京→建築学科へ

東京は市区町村による住宅改修の「単独事業」が普通に行われていた。

それら事業の中で、施工者がノウハウを積み上げていた。



住宅改修は
現場で学ぶもの！